

For Earth, For Life
Kubota

2026年度第2四半期 経営概況

2026年8月4日

株式会社**クボタ**

第2四半期実績：

売上高 1兆6,903億円 営業利益 2,356億円(13.9%) FCF 1,220億円

売上高は計画並みを確保、利益は計画を超過

*フリーキャッシュフロー

- ・北米レジデンシャル市場やタイ市場は弱含んだものの、建機事業・インド市場が成長をけん引し、売上は概ね計画並みを達成。
- ・固定費管理や収益改善施策を進め、円安および米国関税還付の追い風もあった結果として営業利益は計画を上回った。

資本効率向上に向けた取り組みが着実に進展

- ・売上・競争力を維持しながらBS改善が進捗、小売金融債権の圧縮が進む。
- ・FCFは前年比592億円増加しキャッシュ創出力が向上。

2026年度の見通しと重点事項

年間見通し：

売上高 3兆2,800億円 営業利益 4,000億円(12.2%) FCF 2,300億円

利益は過去最高の見通し

- ・ 中東情勢等に起因する主要市場の低迷やコストアップにもかかわらず、円安や関税還付のプラスの影響を除いても中期計画想定並みの利益を確保。

期初計画比および前年比で増収増益

- ・ 市場環境は上半期と同じ傾向で推移すると見込む。売上高は円安による円換算差で増収。
- ・ 営業利益は中東情勢による影響が拡大するも円安・関税還付の追い風が続き増加。

持続的なキャッシュ創出力の向上を推進

- ・ 米国関税還付による一時的な利益押上げ効果に加えて、引き続き小売金融債権の圧縮効果により、期初計画を超えるFCFの達成を見込む。
- ・ 在庫の持ち方や物流の見直しなどを開始し運転資本の圧縮を推進。

(1) 経営資源の選択と集中

“Focus & Breakthrough”による事業ポートフォリオの動的転換

(2) バランスシートを意識した戦略的な財務運営

従来の売上高・利益率を中心とした財務目標管理から、
バランスシートや資本効率を重視した財務戦略への転換

(3) 未来の成長を支える強靱なグローバル基盤

両利きの経営による企業風土の進化

成長けん引事業における製品ラインアップ拡大が進捗

■ 成長けん引事業 | Growth Driver

市場の追い風をとらえ、事業拡大を加速

① 建機事業

北米インフラ・住宅 / ラインアップ拡大

CAGR: +8.2%

(市場CAGR: +4.0%)



② インド「発」事業

最大市場深耕 / グローバルハブ

CAGR: +9.4%

(市場CAGR: +2.7%)



北米市場への大型CTLの導入

- ・ 大型導入によりCTL市場のカバー率が20%上昇し95%へ
- ・ 従来より高い油圧性能、アタッチメントの種類も拡大



インド市場へのFT(Promaxx)とPT(Shaurya)の導入

- ・ ベーシック主要機種であるPT,FTにて新機種が出そろう
- ・ KBTの製造・設計ノウハウを入れた品質向上によりシェア拡大を加速



北米トラクタ事業の収益体質改革が着実に進展

中期
目標

■ 価値再構築事業 | Rebuilding the Core

基盤事業の収益構造刷新と持続的成長への転換

④ 北米トラクタ事業：最大・最重要市場

コスト競争力強化/ 事業運営見直し

CAGR: +4.6%

(市場CAGR: +2.5%)



重点取組施策

- ① 製品・コスト競争力の再構築
- ② 運転資本の圧縮
- ③ インセンティブプログラムの見直し
- ④ 将来の成長基盤の構築

進
捗

短期的に市場は縮小傾向も市場競争力は維持・向上

- ・ 特に中型セグメントでは市場を上回る販売

インセンティブプログラムの見直し

- ・ 小売金融タームを短縮しつつ売上を維持
- ・ モデルごとの状況に応じた緻密なプログラム設定

在庫最適化に向けた取り組みの開始

- ・ 北米製販一体運営組織の新設
- ・ 回転期間分析を通じた最適在庫、生産計画への落とし込み、ロジスティクス戦略の見直しを開始

BS・資本効率を重視した運営への転換が進む

中期
目標

従来の売上高・利益率を中心とした財務目標管理から、
バランスシートや資本効率を重視した財務戦略への転換



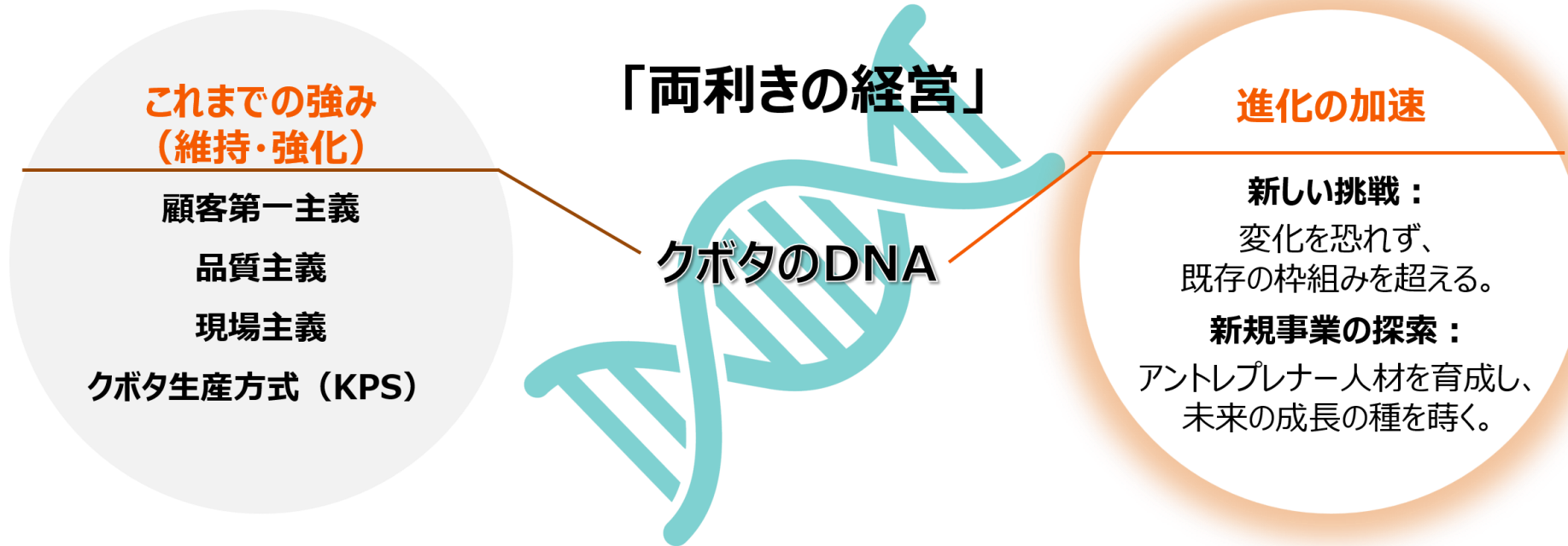
資本コストを安定的に上回るROE及びROICへ
(2030年目標：ROE 12% ROIC 7%以上)

進
捗

- ・ ROIC経営の全社展開に向けた基盤整備推進
- ・ PL・BS・CF一体管理へ移行
- ・ 取締役会での資本効率モニタリング強化

変革を支える企業文化と組織基盤の強化

中期
目標



進
捗

- ・ 国内外拠点との対話を通じ変革意識を醸成
- ・ 企業内起業を通じ挑戦文化を育成
- ・ 事業ポートフォリオ戦略会議を正式発足、成長領域へのシフトを加速

最後に

組織面では挑戦と変革を促す企業文化の醸成を進めるとともに、事業面ではグロースドライバーへの重点投資による事業ポートフォリオの動的転換を推進し、「新生 Kubota」の実現を目指します

“Focus & Breakthrough”

For Earth, For Life
Kubota

将来予測に関する免責事項

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。